

第二回『何のために働くのか』読書感想文コンクール

<総評>

昨年に引き続き2回目の読書感想文コンクールだったわけですが、今年も幅広い層の方々から多くの感想文が集まり、大変嬉しく思いました。本書を上梓して1年が経ち、帯の文言も「若いビジネスマンに伝えたいこと」、「あなたはこの問いに何と答えますか?」、「ビジネスマンが No.1 に選んだ本」、そして「社員教育に活用する会社が増えています」と変遷を経てきました。その影響があっただけでなく、今回は昨年よりも、社会人1年目～3年目の若い人たちの感想文が比較的多く見受けられたように思います。戦後、学校教育において徳育というものが失われてきたなかで、これからの社会を担っていく人が真剣に「何のために働くのか」という問いを考えてくれたということは非常に意義のあることだと思いました。

私が最も影響を受けた東洋思想の基本には、「すべてが己に帰着する」という考え方があります。例えば、「自修」という、人間は自己を築くのは自分以外にはいないという意味の言葉があります。また、「自得」という言葉もあります。どのような時代においても、いまの自分はどうか、自分のことを本当にわかっているのかと自分自身と向き合うことが大切です。今回、多くの方々の感想文を読ませて頂き、それぞれの人がそれぞれの立場で、自分自身と、そしてそれぞれの人生と真正面から向き合い、再び新たに歩まれようとしている、そういった力強い言葉に多数出会えました。

私もまだ道半ばです。自分の天命を全うできるよう、これからも社会のために挑戦し続けていきたいと思えます。

2008年6月吉日 北尾吉孝